

様式第 2 号

令和 7 年度 豊見城中学校 第 3 回コミュニティ・スクール協議会 報告書

- 1 開催日時 令和 7 年 9 月 1 1 日（木） 1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 4 5
- 2 場 所 豊見城中学校 小会議室
- 3 参 加 者 長嶺 吉起、金城 英樹、城間 園子、後間 大輔、瀬長 美咲
島袋 篤、根路銘 みどり、金城 忍、安里 智子
- 4 会議内容
 - (1) 今回の会議の主なテーマ
「学校評価の結果分析を踏まえた本校の現状と課題、対応策について」
 - (2) 委嘱状交付
後間大輔氏、瀬長美咲氏
 - (3) 話し合いの内容
 - 1) 授業参観の感想及び改善点について
 - 2) 学校評価の結果分析、課題への対応について
 - 3) クラス数増加に係る教室の確保について
 - 4) 学校生活に難しさを感じる生徒<不登校及び非行傾向>への支援に向けて
 - ①生徒指導
 - ②教育相談
 - 5) 生徒の良さの伸長<授業の充実、自治活動、校内外の諸活動の充実と適正化>
 - ① 生徒の活躍
 - ② 1 年生の職場体験への協力について
 - 6) 情報交換
 - ①PTA 研修部主催の保護者向け研修会
日時：10 月 20 日（月）※第 4 回授業参観の 4 時間目
講話内容：SNS トラブル、薬物乱用防止等のトラブル防止
 - ③ 地域住民からの相談の電話
 - 7) お知らせ
○豊見城市コミュニティ・スクール委員視察研修への派遣について（依頼）
定員は各校から 2 名以内

(4) 決定事項、役割分担、今後の方向性（学校運営への反映に向けて）等

1) 授業参観（感想）

○何度も参観の機会があるが、毎回子供達のあいさつが笑顔で大きな声で、挨拶される側の大人が襟を正す思いになる。子供達に負けずに挨拶をしたい。

○大多数の生徒が授業も前向きに取り組んでいる。中には不登校の生徒もいると思うので学ぶ機会の確保が必要だと感じた。

○3年生のフロアーの掲示物がすごい。訪れるだけでわくわくする。

○技術の授業では棚の制作、家庭科ではハンバーグ作りを男女共に頑張っていた。一頃は男子が技術、女子が家庭科と分かれていたが、今は、みんながいろんな体験ができるので、得意分野が見つかり良さを発揮できると思う。

○学校がきれい。汚れているところがない。掃除が行き届いている。学校だけでなく地域でも野球部の子がゴミを拾ってビニール袋に入れ、片手にカバン、もう片手にゴミ袋を持って登校する姿をよく見る。

○SDG's、人権の掲示物が多い。この取り組みで荒れをつみとることにつながる。

○ICTを使い提示する授業がある。LDの子供たちは黙っているけど授業を理解していない子もいると思われる。一斉授業では限界がある。日本語を母国語としない生徒も含め支援をするために、予算確保が大切だ。

○ICT も使いこなせている。小学校から使い続けているからだろうか。授業もさわぐことなく頑張っている。

○あいさつ、ゴミ拾いは私が中学校の時から力を入れていたが、今も続けているのを知ってうれしい。明るい挨拶に圧倒される。

2) 学校評価の結果分析、課題への対応について

肯定的な評価が低かった部分についての改善への取り組みを。

3) クラス数増加に係る教室の確保について

○豊見城中学校だけでは解決できない問題。校区内小学校長、PTA、CSを巻き込み良案を考える。また、市全体でも課題を共有し、課題を解決できるようにする。

9月中旬に現状と課題を文書にして、市教委に提出。

4) 学校生活に難しさを感じる生徒<不登校及び非行傾向>への支援・解決

① 生徒指導

地域でも関わり活躍の場を設けたり見守りを継続する。

② 教育相談

福祉や関係機関ともつなげ取り組む。

5) 生徒の良さの伸長<授業の充実、自治活動、校内外の諸活動の充実と適正化>

生徒会による行事も行われている。（豊中 Mix デー）

6) 情報交換

① 地域住民からの相談

・学校として定期的に見回りを行う。

・地域でも青年会を活用し見回りを行っている。そのルートに今回問題になった場所も挿入する。

② 宜保公民館が市の不登校対策の一助になる取り組みを進める。

7) その他の事項

○豊見城市コミュニティ・スクール委員視察研修への派遣について
金城英樹委員が参加



※次回 12月24日（水）12:45～15:30「二学期前半の取り組みについて・豊中フェスタ参観」